

第42号



# 市P連だより

尾道市PTA連合会

平成29年3月発行

【事務局】〒722-0043

広島県尾道市東久保町20番14号

おのみち生涯学習センター内

TEL (0848) 37-7353

FAX (0848) 37-7354

E-mail:jimukyoku@onomichi-pta.net

## 小中学校卒業生の皆さまへ



尾道市PTA連合会  
会長 宗田 雅 弘

卒業生の皆さまおめでとうございませう。卒業を迎えて皆さんはどんな心境でしょうか？新しい生活への希望や期待で胸を躍らせているでしょうか。不安でドキドキしているでしょうか。いずれにせよ皆さんには大きな変化が待ち受けていることでしょうか。

みなさんは今、人生の一つの「節目」を迎えていると言えます。竹があれだけ細くて長く成長しても折れないのは「節目」があるからです。人生においても同じことが言えるのではないのでしょうか。「節目」を迎えるという事は、より強く、よりしなやかな人になるためのステップです。次のステップへ向けての準備をしっかり積んで、新しいことへどんどん挑戦してください。たとえ失敗をしても大丈夫です。その失敗もみなさんの人生にとっては大切な「節目」となるはずですよ。みなさんには失敗を恐れるのではなく、何もしないことを恐れる人になって欲しいと願っています。

最後に保護者の皆さまにおかれましてはお子様のご卒業心よりお慶び申し上げます。本年度も尾道市PTA連合会の活動にご理解とご協力を頂きましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

学校とPTA、行政、地域が連携してしていくことは子どもの育ちにとって増々重要性が高くなっていると思います。

尾道の未来を担う子どもたちの為に皆さん一丸となつてPTA活動を盛り上げていきましょ

## 卒業生へのメッセージ



尾道市教育委員会  
委員長 佐藤 昌 弘

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。

また、今日まで卒業生を熱心に指導してこられた先生方、学習支援や登下校の見守り等で、卒業生を支えてくださった地域の方々をはじめ、関係者の皆様にごの機会をお借りし、厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さんが過ごした学校での生活を振り返ると、いろ

いろな思い出がよみがえってくるのではないのでしょうか。楽しい行事に心が弾む日もあれば、いやな出来事に登校する足取りが重いこともあったでしょう。様々な場面で頑張ってきたことは、これからの心の支えとなることではないでしょうか。

また、こうして無事卒業の日を迎えられたのは、皆さんのことをいろいろな面で見守り、皆さんのことを大切に思ってくれている人、家族や先生方、友達、たくさんの方々の支えがあったことも忘れないでください。

皆さんは、4月になると、次のステージへ進むことになりま

す。新しい生活には不安なこともあるかもしれませんが、新しい友達や先生と出会うという楽しみも待っています。

人は一人では生きていけません。お互いに支え合うことによつて生きていけるのです。人との繋がりは大きな財産です。これまでの学校生活の中で得た、思いやりや感謝の気持ちを持つて新しい友達をたくさん作ってください。

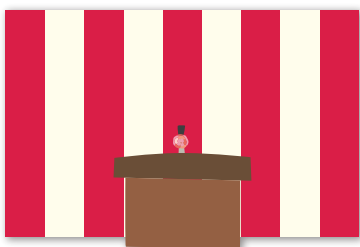
昨年を振り返りますと、未成年に関わる出来事が多くあったように思います。選挙権年齢が一八歳まで引き下げられたことや、痛ましい事件、とりわけ中学生が犠牲となった事件もいくつかありました。社会情勢の変化に対応できる力や命の大切さ、

他人を思いやる心を育むことの重要性を改めて感じました。

さて、今年度は、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されます。サッカーの日本代表チームがオリンピック出場を決めた試合は、記憶に新しいところですよ。最後まであきらめない姿勢に勇気づけられ、感動を与えてもらいました。

皆さんも、将来に向かって自分自身の可能性を信じて、夢を持ち、志高くたゆまぬ努力をしてください。たとえ自分の思いどおりの結果にならなくても、精一杯チャレンジ、努力したことは、新たな道を進むための大きな力となつてくれるでしょう。

尾道は、自然に恵まれ、歴史文化の香るすばらしいまちです。この故郷尾道で生まれ育つたことを誇りに持ちながら、これから始まる新しい未来に、大きな夢と志を抱いて、大きく羽ばたいていつてくれることを心から祈っております。



# ソフトバレーボール大会

実行委員長 梶 賀 庸 雄

各小・中学校PTA会員の皆様、市P連親睦ソフトバレーボール大会に多数の御参加を頂き、誠にありがとうございました。

選手としてまた応援として御参加頂いた皆様、笑顔で帰宅出来るような大会になるよう準備を進めて来ましたが、至らぬ点多く有り参加された皆様にご迷惑お掛け致しました事をお詫び申し上げます。

しかし準備段階から当日の運営に至るまで多くの方々の協力が有り、当日参加された皆様もスムーズな進行にご協力頂いた事により、本大会は無事に終了する事が出来ました。

尾道市P連では毎年、ソフトバレーボール大会と教育フォーラムを各ブロックごとに持ち回りで運営を行っています。

各単P内の通年行事とは違う行事を担当する事は、各ブロック内の連携や交流を深めると共に、単位PTAを運営する新しいノウハウを吸収する事になり、またこれらの行事を持ち回りで行う事で、尾道市内すべての単Pの質を向上させようという目的が有ると思えます。

何かの行事を担当するという事は、決して楽な事は有りません。

保護者が一生懸命何かに取り組む姿を見せる事は、それを見ている子供達や学校の先生方に対して何か良い影響を与える事になり、そのような機会を尾道市内すべての学校が体験する事により尾道市全体の教育環境が底上げしていこうという長い目で見ないと分らない目的が有る事を、本大会を終える事で理解出来た気がします。

来年度は美木中ブロック・長江中ブロックの皆様方にとって大変な年になるかとは思いますが、先を見越した素晴らしい活動内容になるよう願っております。ありがとうございます。



## 尾道市教育フォーラム



### 「第12回 尾道市教育フォーラムを終えて」

久保中ブロック実行委員長 藤 本 洋 幸

まずは、この度の教育フォーラムが盛会のうちに終了できましたことを、関係していただきまして全ての方に、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

準備委員会の立ち上げ、そして実行委員会の発足から、毎週のように準備、打ち合わせ、議論を重ねまして、本番当日まで約1年半に及ぶ活動をして参りました。ご来場いただく方にとってテーマである、”継笑（けいしよ）”を伝えていくか、実践発表が他校の方にどうすればお分かりいただけるか、色々な工夫や改善を重ねて参りました。しかし、所詮は素人な集団であります。様々な問題にすぐにはぶち当たりました。



従来の会場も変更となり、まさに手探りの状態で、日夜フォーラムの事から頭が離れず、本番まで数多くの不安がありました。

しかし、当日の実践発表や、講師による講話、式が進んで行けばいくほど、会場からの拍手や笑顔が溢れていき、閉会式の頃には胸が熱くなる思いでいっぱいでした。これほどまでに保護者同士が意見を交わし、一つの事を作り上げていく行事は他に無いと思ひ、大変貴重な体験をさせて頂き、多くの事を学ばせて頂いたと感謝しております。

普段は会社も生活も全く別な保護者が集まって議論を交わしていくことで、絆が深まり、最初とはつもなく高い山でも決して諦めなければ踏破できることをこの教育フォーラムで感じ取ることができました。

他ブロックの皆様におかれましても、最後にはご自身の感動に変わり得る行事です。今後とも教育フォーラムを益々発展させていたとき、まずは保護者同士がつながることで、是非とも尾道市の教育に寄与していただきたく思います。

今年も各学校の要望をまとめたものを、宗田会長をはじめとする市P連役員で市長、市議会議長、教育長へ提出して参りました。各学校が持つ課題や要望は様々です。今すぐ解決できることは決して多くはありません。しかしこういった形で毎年要望を出し続けることで少しずつでも子どもたちの環境が改善されていくのだと感じました。少なくとも何もしないでいれば良くなっていくことはありません。このような活動は市P連だからこそできるのだと思いました。



ただ要望を出してそれで終わりでは良くないということで、今年から前年に出した要望に対しての回答や進捗状況の報告を受ける場を教育委員会にご協力をいただいて作ることができました。こちらも宗田会長以下市P連役員で教育委員会へお伺いして報告をいただき、意見交換を行うことができました。お金がかかるものに関しては簡単にできるものではありませんが、その中でも行政の方々には環境改善へ向けてご努力を頂いていることが伝わってきました。

「子どもたちのために何ができるか」これを行政、学校、親が一緒になって協力することの重要性を改めて認識する良い機会になりました。



## 要望書提出&改善状況報告会

## なくそう犯罪・なくそう交通事故 決起大会

平成28年11月26日(土)、尾道市民センターむかいしま「こころ」において、第2回なくそう犯罪・なくそう交通事故総決起大会が開催されました。



大会では、交通安全に尽力された団体・学校・優良運転者・功労者などが表彰されるとともに、尾道交通安全協会会長表彰の尾道市立久保中学校3年、住田昌和さんが交通安全作文「信号無視から学んだこと」を発表され大きな拍手をいただきました。

また、市P連から、「子ども110番事業」の取り組みや「市民総参加で子どもを守り育てる地域宣言～おのみち～」についてPRするとともに、玄関ロビーにて「子ども110番事業」の新規登録を募集し、多くの方に登録していただきました。ありがとうございました。

安全で安心して子育てができる社会を目指すために、皆様の知恵と力を結集して、子供たちが犯罪や交通事故に巻き込まれない環境づくりを進めていきましょう。

安全部副会長 奥田敏勝



## 日本PTA全国研究大会 徳島うずしお大会

筆頭副会長 土屋研



去る、平成28年8月20日～8月21日に公益社団法人日本PTA全国協議会主催の「第64回 日本PTA全国研究大会 徳島うずしお大会」に参加してきました。その内容を報告します。

全国大会は初日に五つの分科会と二つの特別分科会が催されていて、2日目には全体会が催されています。各分科会ではそれぞれ「組織運営・広報活動」「家庭教育・健康安全」「学校教育」「人権教育」「環境教育・地域連携」をテーマに催されています。

尾道市PTA連合会は初日第2分科会に参加しました。場所は「あわぎんホール(大会議場)」で研究課題は「食育を通して健やかな子どもを育てるPTA活動のあり方」でした。また、基調講演の講師は料理研究家の「浜内 千波」さんで演題は「子どもたちにとっての食育の大切さ」でした。また、初日の夜には広島県PTA連合会主催の懇親会が催され広島県内各地より集まった参加者との懇親が図られました。

2日目は全体会で場所は「アステイとくしま」で行われました。歓迎アトラクションは本場徳島の阿波踊り、その後開会式が行われ、記念講演として漫画家の「竹宮 恵子」さんによる「輝く未来をひらくために大切なこと」でした。

今回初めて参加して、大変勉強になったと思います。



# 会 演 講 教 育 道 徳 の 親 親

広報部副会長 高橋 武也



2月10日(金) しまなみ交流館にて親の道徳教育講演会が今年も開催されました。

講師に諫早こどもの城館長池田 尚様をお迎えして「つながりからまじわりへ」と題しお話しをいただきました。教育行政に長年携わられたご自身の経験や自らのPTA役員の話を通じて、子どもや親の生きる力を育てるべきかをお話し頂きました。

とはいっても全く堅苦しい話ではなくご本人もあえてスツは着ずにジャージ姿で約1時間半の熱い講演をしていただきました。また、一方的に話すだけではなく会場全体を巻き込んでゲームをやったり、舞台上を所狭しと動き回ったりと、あつという間に時間が過ぎた講演でした。講演の中で池田さんは「親自身が物の見方が凝り固まってるのか」という投げかけをされ、PTAでよくある目的を達成するための手段が目的になってしまつたり、形式主義になつたりする点を指摘されていきました。そして自分の視野を広げ、先入観を捨てるためには自分の領域に他人をあえて入れることや親自身が人と自分を比較しないことなどをお話しされました。PTAは本来「やれる人が、やれる時に、やれる事を持ち寄ってやる」が基本なはず。決して無理をしてはいけないとお話しされていました。最後は会場全体で先生のギター演奏に合わせて歌をうたって閉会となりました。テーマの通り会場全体がまじわつた講演会となりました。



## おのみち母の会さくら研修会

おのみち母の会さくら副会長 木曾 奈美

今年度も一年を通じて母親代表の皆さまには様々な場面で市P連の活動にご協力をいただき、締めくくりの第3回研修会を2月18日(土)にファンダンゴにて38名が参加して開催しました。

私がこれまで、母親代表としての活動をする中でいつも皆さんにお伝えしているのは『無理はせずに出来ることを笑顔でやっていきましょう』『せっかく作った貴重な時間を楽しんでください』ということでした。

研修会ではそんな思いが皆さんに届き、楽しく活動ができたという意見をたくさんいただきました。これは大変うれしく思います。

これからもお母さん達が笑顔になれるPTA活動のやり方を考えていけたらいいなと思えました。

今年度も一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。



## 一年間を振り返って

会員の皆さまにおかれましては一年間を通じ尾道市PTA連合会への多大なるご協力をいただき本当にありがとうございます。

市P連、単位PTAを問わず、PTAの活動にご尽力されている方々を見ていて本当に頭の下がる思いを感じます。夫婦共働きや、核家族世帯の増加、塾や習いごとをする子も増えその送迎など、PTAの活動に親が時間を取りにくくなっていることも現実としてあるのかなあと思います。

今後のPTAは効率的な運営がますます求められるとは思いますが、効率を求めすぎると究極的には「やめてしまえ」になってしまいます。保護者一人ひとりがまずは「自分にできること」を、そしてやる以上は「楽しむこと」を心がけないとPTAの運営は難しくなる一方でしょう。

しかし「すべては子どもたちのために」という気持ちには皆さん共通だと思います。来年度以降も子どもたちのために、引き続き市P連へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長 高橋 武也

